



# 「将来の夢は世界王者」

プロデビューを果たした高校生キックボクサー

## 齊藤 龍之介さん (松原・15歳)



### プロデビューは通過点 将来の夢は世界王者

「つらい練習に耐えて、大きな大会で優勝できたときは、本当にうれいんです。将来は世界チャンピオンになりたい」と目を輝かせて話すのは、高校生キックボクサーの齊藤龍之介さん(ドージョー☆シヤカリキ所属)。

11月1日に、下妻市の「ワイワイドームしもつま」で行われたプロのキックボクシング大会で、最年少プロデビューを果たしました。バンタム級の齊藤さんは、得意のキックで試合のペースを握り、最終ラウンドで対戦相手が負傷し、TKO勝ちをおさめました。「緊張しましたが勝ててよかったです。みんなの応援があったので頑張れました」とデ

ビュー戦の感想と周囲への感謝の気持ちを話してくれました。

### 努力の大切さを教えてくれたキックボクシング

「小さいころは、泣き虫だったんです。強い子になってほしいと、親に連れてこられたのが、キックボクシングとの出会いでした」と恥ずかしそうな表情を見せる齊藤さん。

5歳のときに初めてジムを訪れ、選手たちが放つパンチやキックの音と迫力、そしてキラキラと輝くその姿を、今でも鮮明に覚えているそうです。

小学5年生のときに挑んだ「ジャパンカップ」では、頭で考える前体が動き、キックやコンビネーションが決まって初めてチャンピオンベルトを手に入れました。練習の成果が

実った瞬間でした。「初めてうれし涙を流しました。泣き虫だった頃に流した涙とは違う自分の成長を実感しました。つらいことがあっても、諦めないで努力を続けることが、成功へつながると確信を持ってました」と齊藤さん。

中学生のときには、「新空手全日本選手権」中学生の部で2連覇するなど、全国屈指の実力者に。

### 5年後の成人式には 世界王者のベルトを巻いて

「週6日ジムで練習し、キックボクシングは生活の一部になっていきます。これからも練習を重ねて、5年後の成人式には世界王者のベルトを巻いて出席したいです」と齊藤さん。夢への挑戦はまだまだ始まったばかりです。